

7. 環境への配慮

(1) 省エネ対応設計

以下の機能の搭載などさまざまな省エネ対応設計を行っています。

- (a) 「ミニ画面モード」
- (b) 消費電力低減設定
- (c) 無操作電源オフ機能
- (d) 無信号電源オフ機能

(2) 資源の有効利用

テレビ本体への自己循環の再生プラスチックやポリ乳酸系の植物性プラスチックの一部使用、材料のリサイクルを容易にするため 25g 以上のプラスチックに材料表示を行うなど、リサイクル対応設計を行っています。なお、ポリ乳酸系の植物性由来樹脂はとうもろこし 100%を原料として製造されているため、石油資源の使用量の節約と CO₂ 排出削減にも貢献しています。

(3) 化学物質管理の徹底

本商品では「EU-RoHS 指令^{注2 1}」、「J-Moss^{注2 2}」に適合しています。

注 2 1 RoHS:Restriction of the use of certain Hazardous Substances

EU (欧州連合) では、コンピュータや通信機器、家電などで特定有害物質 (6 物質「鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB (ポリ臭化ビフェニル)・PBDE (ポリ臭化ジフェニルエーテル)」) の使用規制を定めた RoHS 指令が 2006 年 7 月から施行されています。

注 2 2 J-Moss : 電機電子機器に含有される化学物質の表示に関する JIS 規格 (JIS C 0950) の略称です。

当社グループの環境ビジョンについて

当社グループは、「地球内企業」として持続可能な地球の未来に貢献するため、「東芝グループ環境ビジョン 2050」を策定し、総合環境効率を 2000 年度基準で 2050 年度までに 10 倍に高める目標を掲げています。この実現に向け、「東芝がモノを作るときのエコ “Green of Process”」、環境性能 No.1 製品の創出など「東芝の作る製品がエコ “Green of Product”」、効率の高いエネルギー供給機器の開発などの「エネルギーの低炭素化技術で貢献するエコ “Green by Technology”」、さらに「基盤活動を継続的に向上する “Green Management”」の 4 つの Green で地球との共生と豊かな価値の創造を共に推進する取り組みを行っていきます。

当社グループは、こうした環境への取り組みを一層加速するとともに、広く訴求するため、「eco スタイル」をグローバル統一ブランドと定めています。

URL: http://www.toshiba.co.jp/env/jp/management/vision2050_0_j.htm

以 上